

# 露店出店時の留意事項について

上田地域広域連合消防本部  
東 御 消 防 署

◎ 露店で対象火気器具※（気体燃料・液体燃料・固体燃料を使用する器具及び電気を熱源とする器具）を使用する場合は、**消火器を設置**してください。

※使用例：移動式ストーブ 調理用器具 移動式コンロ オープン 電子レンジ 電気コンロ  
IHコンロ 電気温水器等

◎ 対象火気器具や照明器具を使用する場合は、適切な取り扱いに心掛けるとともに、下記のチェックリストを御確認いただき、火災予防に御協力をお願いします。

## **コンロ関係**（炭焼き用の七輪なども含みます。）

- 不燃性（不燃ボード、コンクリートブロック等）の台上で使用すること。
- コンロの上方1m以内、周囲15cm以内に可燃物を置かないこと。
- 振動・衝撃で容易に転倒し、または落下するおそれのないよう据え付けること。
- カセットコンロを使用する場合は、爆発のおそれがあるため2台以上並べて使用しないこと。
- カセットコンロで炭の火起こしを行わないこと。
- 燃え殻・燃えさしは、ふたの付いた不燃の容器に入れること。
- 使用中は、その場を離れないこと。
- 予備のカセットボンベは、火気等から十分離し、直射日光を避けた風通しの良い場所で保管すること。

## **プロパンガス関係**

- ホースはひび割れ、溶融等劣化したものを使用しないこと。
- ボンベは、直射日光を避けた風通しの良い場所に置くこと。
- コンロとホースの接続部には、必ずホースバンドを取り付けること。
- 開閉弁のない三又接続器具は使用しないこと。
- 使用しないガス栓には、ゴムのキャップを付けておくこと。
- 使用後は、器具栓だけではなく元栓も閉じること。
- ボンベは、水平な場所又は台の上に置き、容器は鎖等で固定するなど、転倒しないような措置を講じること。
- ボンベと火気器具は、2mを超える距離を保つこと。

## **暖房器具関係**

- 暖房器具と可燃物との距離を十分に保つこと。
- 暖房器具を付けたまま、その場を離れないこと。
- 燃料を給油する時は、必ず暖房器具の火を消してから行うこと。

## **発電機・燃料携行缶関係**

- 燃料の給油は、原則として使用開始前に行うこと。また、やむを得ず途中で補給する場合は、エンジンを止め、エンジンが十分に冷却されていることを確認してから、安全な場所で給油すること。
- 長時間使用する場合は、適時にエンジンを停止するなど、過熱に注意すること。
- 予備の燃料は、携行缶等の金属缶に入れ、火気や発電機から十分に離し、直射日光を避けた風通しの良い場所で保管すること。

- 給油する際、携行缶のキャップを開けた時に燃料が吹き出すことがあるので、火気のないところで携行缶のガス抜き栓をゆっくり開けてガス抜きをすること。
- 給油後、燃料漏れのないことを確認してから始動すること。

#### **電気調理器具及び照明器具関係**

- 電気調理器具及び照明器具は、高温になるため、燃えやすいものと近接した状態で使用しないこと。
- 照明器具の電球は、ソケットへ確実に接続し、絶縁のための被覆を確認するとともに、開閉器（スイッチ）等を使用する場合は、露出して使用しないこと。
- 配線は、著しい振動や脱落のおそれがないように取り付けるとともに、過度の加重、張力が加わらないようにすること。

#### ◎ その他

露店出店日に消防署員が現場確認を行います。御協力をお願いします。

## こんな原因で事故が発生しています！

#### カセットコンロ関係

- ◆ カセットコンロを2台並べ大きな鉄板で調理したため、ボンベが加熱され破裂した。
- ◆ カセットコンロの五徳を裏返しに使用したため、こもった熱や巻いた炎により、ボンベが加熱され破裂した。
- ◆ カセットコンロで炭火を起こしていたところ、ボンベが加熱され破裂した。

#### プロパンガス関係

- ◆ プロパンガスのコンロを乗せたテーブルが倒れ、コンロとガスボンベを接続するホースが外れたため、漏洩したガスに引火、爆発した。

#### 発電機、燃料携行缶関係

- ◆ ガソリン携行缶を発電機の排気筒近くに置いていたため加熱され、給油時に携行缶のキャップを開けたところガソリンが噴出し、周囲の火源から引火した。

#### 電気調理器具及び照明器具関係

- ◆ 可燃物に近接した状態で使用したため、加熱された可燃物から出火した。

《お問い合わせ先》 東御消防署 予防係 0268-62-0119